

# 平成24年度 学内研究助成金 研究報告書

近畿大学

課題番号：KS01

研究種目	<input type="checkbox"/> 奨励研究助成金	<input type="checkbox"/> 研究成果刊行助成金
	<input type="checkbox"/> 21世紀研究開発奨励金 (共同研究助成金)	<input checked="" type="checkbox"/> 21世紀教育開発奨励金 (教育推進研究助成金)
研究課題名	近畿大学の大学アーカイヴズと学内資料の収集・保存に関する基礎的研究	
研究者所属・氏名	研究代表者：経営学部教授・増田大三 共同研究者：法学部准教授・上崎哉、経営学部教授・稲葉浩幸 経営学部准教授・藪下信幸、文芸学部教授・鈴木拓也 文芸学部准教授・酒匂康裕、短期大学部教授・田窪直規 九州短期大学准教授・三木一司、教職教育部准教授・富岡勝 (所属は平成24年度)	

## 1. 研究目的・内容

本学の歴史に関連する学内資料の収集・保存についての現状と課題を明らかにして、その知見を全学で共有することを目的に、学内調査、他大学の大学アーカイヴズや公文書館などへの訪問調査、学内研究会などを実施し、その成果を学内講演会と研究報告冊子で公表するという内容に取り組んだ。

## 2. 研究経過及び成果

1. 学内調査としては、2013年2月に総務部と管理部の協力を得て学内文書保管庫の見学調査を実施するとともに、中央図書館の協力を得て本学の歴史に関する蔵書調査を行った。これにより、本学の歴史に関連する学内資料保存についての現状を明らかにする作業に着手できた。
2. 他大学の大学アーカイヴズや公文書館などへの調査として、2012年8月および9月に、関西大学年史編纂室、慶應義塾福澤研究センター、成蹊学園史料館、大東文化歴史資料館、桃山学院史料室、国立公文書館、外務省外交史料館、渋沢史料館を訪問した。訪問調査には短期大学部教授井田泰人も準メンバーとして参加した。また共同研究者酒匂の自主的研究活動として、韓国の「大学記録管理実務教育」へも参加した。これらの一連の調査によって資料の収集・保存などに関する具体的な事例を知ることができた。
3. 学内研究会として、2012年6月に、石井幸雄氏（一般社団法人ヒューリット・マネジメント・フォーラム）・菅真城氏（大阪大学文書館設置準備室。2012年10月1日に大阪大学アーカイヴズへ改組）・浜田行弘氏（関西学院）を招いて、「大学の文書管理に関する基礎的研究」と題した研究会を実施した。総務部・中央図書館・建学史料室などから参加した職員とともに、大学の文書管理に関する課題や方法について知見を深めることができた。
4. 学内講演会として、2012年12月18日に菅真城氏（大阪大学アーカイヴズ）と西口忠氏（桃山学院史料室）を講師として「大学史資料の収集・保存を始めるには」というテーマの講演会を実施した。菅氏の「大阪大学アーカイヴズの設置と文書管理」と題した講演では、ちょうど発足したばかりであった大阪大学アーカイヴズの設置過程が詳細に紹介された。西口氏の講演「ゼロからの資料収集 — 桃山学院史料室を例に —」では、桃山学院において30年ほど前にほぼゼロの状態から資料収集を開始し、実績を重ねてきた経験が詳細に語られた。二つの講演によって、本学でどのように資料収集を開始し、大学アーカイヴズを創設していけばよいのかということについて、具体的な知見を学内外の参加者に提供することができた。
5. 1から4までの詳細な内容をA4判約160頁の冊子にまとめ、研究成果を学内で共有することができた。

以上により、本学の歴史に関連する学内資料の収集・保存についての現状と課題を明らかにして、その知見を全学で共有するという目的を達成することができた。

### 3. 本研究と関連した今後の研究計画

当面の約1年間は以下の三点を中心とした研究を実施していく。

第一に、関係事務部署や建学史料室と協力しながら、本学の校史に関連する学内資料の収集・保存状況の現況調査を、東大阪キャンパスを中心に本格的に実施し、学内資料の収集・保存に関する全学的な気運を高める。

第二に、校史に関する学外資料の収集について、公的機関の公文書の調査や古書収集などを通じて開始する。

第三に、学内資料の保存や学内文書管理システムの改善などに関する学外の事例を調査し、本学の取り組みの参考となる知見を得る。

### 4. 成果の発表等

発表機関名	種類(著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)
『「近畿大学の大学アーカイブズと学内資料の収集・保存に関する基礎的研究」研究報告書』(A4判約160頁)	著書(研究報告冊子として学内および関係諸機関向けに400部発行)	2013年2月15日
関西教育学会第65回大会	口頭発表	2013年11月16日(予定)
関西教育学会年報	雑誌	2014年7月1日(予定)